はじめに

日頃の積み重ねが、あなたの人生を一瞬で決める。それが、面接試験。

○ 大学が求める人材像であることをアピールしなければなりません。

面接とは、受験生に口頭で聞き取り調査を行う形式の試験です。大学受験においては、入学者の受け入れ方針(「求める人材像」「アドミッション・ポリシー」などと呼ばれている)を満たす人物であるかどうかを確認するために行われます。さまざまな大学の受け入れ方針を見ると、おおまかに「志望する学部・学科での学びに関する強い興味・関心があること」「わが大学を第一志望とする人物であること」という内容に大別できます。したがって、こうしたことを満たしている人物であることをアピールする準備が欠かせません。

○ 受験生の本当の姿を浮き彫りにするのが、面接試験です。

面接官は、受験生の問答・受け答え方・態度をもとに、多くの情報を引き出そうとします。それは、出願書類や筆記試験の結果(大学入学共通テスト、学科試験、小論文)だけでは、受験生の人物像や能力を見極めることが難しいからです。しかも、面接試験の対策が難しいのは、評価の過程で面接官の主観が多分に含まれてしまう点です。たとえば、面接会場での立ち振る舞いや態度の良し悪しが評価を左右することもあります。つまり、受験生の素養を見るために用いられるのが面接試験なのです。

○結果が瞬時に決まることを踏まえて、対策をする必要があります。

面接官は質問の難易度を決定し、面接試験の「場」を支配する権限を持っています。和やかな雰囲気の中で受験生の緊張を解きほぐし、本心を探ろうとする面接官もいる一方で、あえて厳しい質問を投げかけたり、受験生の返答に反論をしたりして、受験生の資質を見ようとする面接官もいます。出願書類や筆記試験のようにじっくりと受験生の解答が検討されるわけではなく、面接官はその場で評価を下しますので、あなたが有利になるように、できる限りの対策を講じる必要があります。また、面接試験をクリアするためには、厳しい状況を想定した上で訓練をすべきです。

今までの総合型選抜・学校推薦型選抜の集大成が面接試験にかかっています。あなたが描く未来の実現の第一歩まで、目前に迫っています。最後まで一緒に頑張りましょう!

神﨑 史彦

Contents

講	テキストページ数	動画 チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4
はじめに	1P				
Contents	2P				
本講座の学習の流れ	3P				
総合型選抜対策講座シリーズ受講の流れ	4P				
第1講 面接試験での必須事項① マナー身だしなみ	5P－16P	入室から退室まで	身だしなみ	身のこなし方① 表情	身のこなし方② お辞儀・姿勢
第2講 面接試験での必須事項② 表現・準備	17P－26P	表現の基本	質問の答え方	面接官からの深掘り質問への対処	敬語の使い方
第3講 予想質問① 志望理由・自己アピール	27P－40P	学部・学科・大学の志望理由	大学入学後について	自己について	長所と短所
第4講 予想質問② 高校生活・大学生活・その他頻出質問	41P－56P	高校生活での成長	課外活動・学業	志望大学の理解	時事問題・その他
第5講 面接のイメージトレーニング	57P－60P	模擬面接①	解説	模擬面接②	解説
第6講 オンライン面接の対処法	61P－72P	オンライン環境を整える	オンライン面接のマナー	画面越しの自分の魅せ方	面接試験までの準備・おわりに
おわりに	73P－74P				
巻末資料 面接 ルーブリック	75P－78P				

本講座の学習の流れ

予習	• 基本的には予習は不要です。
受講中	• 動画を観ながら必要な板書は左ページに書き込みましょう。 • 大事なポイントや自分なりに考えたことは右ページの生徒メモ欄にメモしておきましょう。 • 適宜動画を止めたり、動画のスピードを変えても構いません。
受講後	• 第3･4講では右ページに回答欄を準備していますので、面接シナリオを書いてみるのも良いでしょう。その際、大学の先生の立場に立って、徹底的にその質問に対して回答を想定してください。その上で、どんな回答をすれば面接官からの反論を回避できるかを考えて、回答を修正してみてください（徹底的なクリティークが合否を左右します）。
学校の先生との面談で	• 各講で学んだこと・考えたことや、面接シナリオを学校の先生との面談に持ち込んで、ご指導をいただいても良いでしょう。

総合型選抜対策講座シリーズ　受講の流れ

試験形式に関わらず、受講推奨	総合型選抜対策講座 <スタートアップ編>	総合型選抜とは何か、どんな事が求められるのかといった前提知識を学びたい時や、志望校や志望理由を決める時に迷っている場合におすすめです。
	総合型選抜対策講座 <出願書類作成編>	志望理由書、または自己アピール文を書く際に必要な要素や考え方を学びたい時におすすめです。また、巻末資料に自己採点の参考になる評価基準も付いているので、書き上げた書類を見直す際にも参考にしてください。
各自の試験形式に合わせて、必要な講座を選択した上での受講を推奨	総合型選抜対策講座 <事前課題型小論文編>	事前課題型小論文とは、事前課題として小論文やレポートを課し、出願書類とともに提出したり、2次選考の材料として用いられたりする形式です。作成の際に注意したいポイントを学びたい時におすすめです。
	総合型選抜対策講座 <面接編>	面接を受ける際の準備や心構え、頻出質問例などを学びたい時や、模試面接の様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。
	総合型選抜対策講座 <プレゼンテーション編>	プレゼンテーションを行う際の準備や心構え、表現方法例などを学びたい時や、模試プレゼンの様子から実際のイメージなどを持ちたい場合におすすめです。

第1講

面接試験の必須事項① マナー・身だしなみ

チャプター1

入室から退室まで

書き込んでみよう

○ 面接中のマナー　チェックポイント

Step1 入室

1
2
3
4
5
6

Step2 着席

1
2
3
4
5

Step3 応答

1
2
3
4
5

Step4 退室

1
2
3
4
5

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

身だしなみ

書き込んでみよう

○ 身だしなみ　チェックポイント

●全員共通

1

2

3

4

5

6

7

8

9

生徒メモ欄

教員記入欄

書き込んでみよう

●モデル①の場合

1

2

3

4

●モデル②の場合

1

2

3

4

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

身のこなし方① 表情

書き込んでみよう

○ 表情　チェックポイント

❶

❷

❸

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

身のこなし方② お辞儀・姿勢

書き込んでみよう

○ お辞儀の方法　チェックポイント

会釈（15度）　敬礼（30度）　最敬礼（45度）

❶

❷

❸

❹

❺

生徒メモ欄

教員記入欄

書き込んでみよう

◯ 姿勢 チェックポイント

●直立不動のとき

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

●着席のとき

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

生徒メモ欄

教員記入欄

第2講

面接試験の必須事項② 表現・準備

チャプター1

表現の基本

書き込んでみよう

○ 面接で話す際の表現・言葉遣い　チェックポイント

●基本編

1.
2.
3.
4.
5.

●発展編

1.
2.
3.
4.

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

質問の答え方

○ 面接中の質問の流れ

Step1 理解
❶
❷
❸
❹

Step2 回答
❶
❷
❸

Step3 理由
❶
❷
❸

Step4 応答
❶
❷
❸

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

面接官からの深掘り質問への対処

書き込んでみよう

○ 面接中の質問　イメージトレーニング

●具体化・抽象化を求める質問

〈例〉

〈意図〉

〈対処法〉

〈面接官からの質問を想定しよう〉

●遠回しに受験生を探る質問

〈例〉

〈意図〉

〈対処法〉

〈面接官からの質問を想定しよう〉

●受験生の回答に反論する質問

〈例〉

〈意図〉

〈対処法〉

〈面接官からの質問を想定しよう〉

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

敬語の使い方

書き込んでみよう

○ 敬語

●敬語の種類

【丁寧語】
これから行きます。私は～～です。～～でございます。

【尊敬語】
～～先生が私にお話しになります。～～先生がお送りくださいます。
～～先生が来られます。～～先生がいらっしゃいます。

【謙譲語】
～～先生にお尋ねします。～～先生にお尋ねいたします。
～～先生に伺います。

●敬語の早見表

	【尊敬語】	【謙譲語】
言います →	おっしゃいます	申します
聞きます →	お聞きになります	伺います
見ます →	ご覧になります	拝見します
食べます →	召し上がります	いただきます
行きます・来ます →	いらっしゃいます	お伺いします
思います →	お思いになります	存じます
もらいます →	お受け取りになります	いただきます
知っています →	ご存じです	存じ上げています
います →	いらっしゃいます	おります
くれます →	お授けになります	差し上げます
します →	なさいます	いたします

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 敬語

●身内への敬語使用

× お母さんから助けていただきました。
⇒ ○ 母に助けてもらいました。

●二重敬語

× 志望理由書はご覧になられましたか？
⇒ ○ 志望理由書はご覧になりましたか？
× 〜〜先生がおっしゃられました。
⇒ ○ 〜〜先生がおっしゃいました。

●敬語連続

× 出願書類をお読みになられている。
⇒ ○ 出願書類をお読みになっていらっしゃる。
× 先生が私をご指導してくださった。 私は先生にご指導していただいた。
⇒ ○ 〜〜先生が私をご指導くださった。私は先生にご指導いただいた。

●依頼

× もう一度、質問を聞かせてください。
⇒ ○ もう一度、質問を伺えますでしょうか？
◎ 恐れ入りますが、もう一度質問を伺えますでしょうか。

生徒メモ欄

教員記入欄

第3講

予想質問① 志望理由・自己アピール

チャプター1

学部・学科・大学の志望理由

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　なぜ本学を志望したのですか。

例を見てみよう

私は教育心理学の視点から、子どもがいじめを行う理由や背景、対処法を探っていきたいと考えています。貴学の～～先生は学校で起こりうるさまざまな問題の調査結果をもとに、教育心理学の観点から原因を考察し、フィードバックしています。～～先生から専門的な指導を受けられるとともに、研究や調査の方法も学ぶことができます。

生徒用回答欄1

教員記入欄

書き込んでみよう

2　他の大学ではなく、本学を志望したのはなぜですか。

例を見てみよう

私が研究テーマとしたい「いじめ問題」を、教育心理学の分野から考察するには、貴学が最適だと考えたからです。～～先生のゼミナールでは、いじめ問題の心理学的考察をテーマに掲げていますが、学生が実際に学校現場でフィールドワークを行って研究活動を進めているところはあまりありません。

書き込んでみよう

3　なぜ本学科を選んだのですか。

例を見てみよう

私は教育現場のいじめ問題に対処するため、教育学だけでなく心理学を修めたいと考え、貴学の教育学科を選びました。これらの基礎的な学習ができるようにカリキュラムが組まれているだけでなく、教育現場における問題を解決する「教育学研究プログラム」を選択することができるのが、貴学です。教育心理学や認知心理学の視点から、いじめ問題への対処法を考えることが可能です。

生徒用回答欄2

教員記入欄

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター2

大学入学後について

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

1　あなたが本学で身につけた研究成果やスキルを、将来どう活かそうと思っていますか。

私は、児童や生徒の心を育むことができる能力を貴学で身につけ、教育の現場で発揮したいと考えています。いじめ問題は教育の現場で常に起こりうる問題です。教員が誠実に対応し、健全な学級経営を行うためには、大学での研究は非常に重要だと思います。

2　あなたは入学後、勉学以外に取り組みたいことはありますか。

インターンシップに参加したいと考えています。いじめ問題で苦しむ子どもたちに、私が貴学で得た学びを活かす方法を考え、そうした子どもたちに寄り添っていきたいです。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

チャプター3

自己について

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　あなたが今まで読んだ本で、
最も印象に残ったものは何ですか。

例を見てみよう

演劇についての書籍を数多く読んでいますが、最も印象に残ったのは竹内敏晴さんの『ことばが劈(ひら)かれるとき』という本です。私も含めて、人々は言葉を毎日使っていますが、言葉がいかに身体と結びついているものなのか、そして、他者と結びつくものなのかを、考えるきっかけになった本でした。

書き込んでみよう

2　あなたの趣味(特技)はありますか。

例を見てみよう

趣味は写真撮影です。私は広角のレンズが好きで、背景をぼかし、被写体にピントを合わせて撮影します。あえて遠くのものに焦点を当てて、手前のものや人をぼかしてみる、ということにもチャレンジしています。現時点では連写をしないといい写真が撮れないくらい未熟ですが今後は写真教室に通い、もう少し腕を上げていきたいです。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　あなたの好きな言葉は何ですか。

例を見てみよう

作家の井上靖先生が仰った「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」という言葉が好きです。部活動でも練習が厳しかったり、指導してくださる先生に何度も指摘を受けたりすると、不満を語りたくなります。しかし、同じ境遇だったとしても、他者に感謝し、喜びを感じながら生きていくことで、自然と前向きに生きることができると信じ、今を生きています。この言葉は私への戒めの言葉でもあり、励ましの言葉でもあります。

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター4

長所と短所

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　あなたの長所と短所は何ですか。

例を見てみよう

私の長所は決断したことをやり遂げるところです。私は、演劇部の部長になったとき、演劇に対する熱意を感じなかったことから部員の士気が落ちているように思いました。その原因は「パフォーマンスをしても認めてくれない」と部員が思っているからだと考え、多くの人に公演を見てもらう機会を作ろうと思いつきました。公演の広報活動を続けたり、公演の数を増やしたり、コンクールへの参加を促したり、様々な手段を使って実行しました。一方、短所は心に決めたことを曲げられないところです。先ほど挙げた私の行動について、部員から批判的な意見が出たことも事実です。しかし、パフォーマンスをする人間として、表現の場を持つことは絶対に必要だと考え、そうした人の意見を踏まえず、最後までやり遂げたことがありました。こうした短所を持つことは自覚しています。できる限り人の意見に耳を傾け、私の考えに取り込む努力をしていこうと考えています。

生徒用回答欄1

教員記入欄

書き込んでみよう

2　あなたのことを私たちにアピールしてください。

例を見てみよう

私は「実行し続ける行動力」を持つ人物だと自負しています。私は、演劇部の部長として、公演に多くの観客の人々を呼ぶために、商店街や町内会、他の高校など、50の団体に自ら出向き、広報活動を行いました。まずは、自分が納得するまでやってみようという気持ちをもって取り組みました。そうしたところ、一公演あたりの動員数が50人から150人に増え、今でもその数を保てています。その効果は部員にも広まり、様々なコンクールや演劇祭に挑戦してみようという機運が高まりました。行動を続けることは、多くの人々の共感を呼び、団結力を深めることにつながるのだと感じています。私はパフォーマンス学を専攻しようと貴学を志望していますが、継続、そして、行動は身体の表現を高めるためには欠かせないと信じています。私の長所を貴学での学びに活かし、よりパフォーマンス学を発展させていきたいです。

生徒用回答欄2

教員記入欄

第4講

予想質問① 高校生活・大学生活・その他頻出質問

チャプター1

高校生活での成長

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　高校生活で印象に残っていることは何ですか。

例を見てみよう

サッカーの夏の県大会でベスト8になったことです。1年間チームリーダーとして、部の問題点を探り、改善に向けて努力してきました。私のチームは守備がうまくいかず、仲間と顧問の先生とともに、何度もフォーメーションを調整してきました。それが試合に活かせるようになったとき、達成感を味わうことができました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

書き込んでみよう

2　高校生活の中で、あなたを成長させたと思える出来事を一つ挙げてください。

例を見てみよう

高校2年生の部活の初戦で敗退したときです。些細なミスが重なり、先輩や仲間との意思疎通もうまくいきませんでした。しかし、そのときはじめて「この部の問題を見つけ、正したい」と思うようになりました。諦めることは簡単ですが、あと1年でどれだけ問題を解決することができるのか、考えることが大切だと思いました。サッカーの基本に立ち返り、いかに私たちが基本を疎かにしているのかを自覚し、練習メニューの見直しからはじめ、県大会でベスト8に残るくらいまでの成長を遂げました。

生徒用回答欄2

教員記入欄

チャプター2

課外活動・学業

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　部活動やボランティアなど、
あなたが取り組んできた課外活動を紹介してください。

例を見てみよう

高校1年生の頃から、文化祭や体育祭の際に使うクラスTシャツを企画・販売する会社を起業していました。できる限り低コストで運営するために、デザインは外部に発注するのではなく美術部に協力を促したり、高校のOBが経営する衣料品店と価格交渉をしたりしました。原価を除いた収益はユニセフに寄付をし、多くの人々の役に立てるよう、考えてきました。

書き込んでみよう

2　高校で委員会や生徒会活動はしていましたか。

例を見てみよう

はい、放送委員を3年間務めてきました。私は学校行事のときの音響スタッフに加え、アナウンスや音楽の選択なども担当してきました。私の高校は住宅街の中にあり、騒音にならないように音量を調整したり、おとなしい曲を選択したりするといった気配りを欠かさずに行ってきました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　高校の授業で好きだった科目、苦手だった科目は何ですか。

例を見てみよう

好きな教科は政治・経済です。特に、政策が景気をコントロールする役割を担っている点や、旧来の経済政策では景気調整が難しくなっていることなど、政治と経済との強い結びつきに気づくことができ、経済学部への進学のきっかけとなりました。一方、苦手な教科は英語です。新たな言葉を習得するのは大変で、今でもリスニングが上手にできません。その苦手を克服するために、毎日英語のニュースを欠かさず聞くようにしています。

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター3

志望大学の理解

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　本学の建学理念を知っていますか。

例を見てみよう

はい、「自由と進歩」です。自由な発想のもと、新しい課題や問題に挑戦し続け、新たな伝統を創り上げていこうという意味であると、貴学のパンフレットで拝見しました。

書き込んでみよう

2　本学の雰囲気はどう思いますか。

例を見てみよう

建学理念と同じように、大学生の方々が自由に学んでいる雰囲気を感じました。また、貴学の「マス・コミュニケーション論」という講義を見学しましたが、先輩方は講義の内容に耳を傾け、真剣に学んでいました。その日の講義の内容はピューリッツァー賞についてでしたが、1枚の報道写真が世界中の人々に問題提起し、人々の認識を変え、解決に導いていく力があることを学びました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　オープンキャンパスには参加しましたか。
感想を聞かせてください。

例を見てみよう

はい、参加しました。比較政治論の模擬講義に参加し、政治体制と国民の意識の話を伺いました。また、個別面談で～～先生とお会いし、マスメディアと政治との関係を研究したいという話をしました。～～先生から、『ピューリツァー賞 受賞写真 全記録』という書籍を紹介していただき、今読んでいるところです。

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター4

時事問題・その他

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　新聞やニュースを見ていますか。

例を見てみよう

はい。最近では○○県知事選がありましたが、その戦術に興味を持ち、新聞を毎日読んでいました。具体的な政策を提案する候補者もいれば、「○○を世界一に」という漠然としたスローガンを掲げつつ支持基盤に頼る候補者、SNSを活用した候補者など、様々な戦い方があることを知りました。

書き込んでみよう

2　最近気になっている社会問題を一つ挙げてください。

例を見てみよう

報道被害についてです。マスメディアの誤報や、編集して誇張したうえでの報道によって、関係者だけでなく、家族の名誉を傷つけるということが起こっています。場合によっては、無実の人であっても仕事を失ったり、一家離散の憂き目にあったりします。名誉回復ができたとしても、元の生活が取り戻せないこともあります。法整備が必要であるのはもちろんですが、マスメディアが情報の選別を慎重に行うとともに、人権を保つ配慮が必要ではないかと思います。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　事前課題小論文を受けた感想を聞かせてください。

例を見てみよう

小論文のテーマである「現代のジャーナリズムの問題及び課題」について丁寧に思考をめぐらす機会がなかったので、最初は戸惑いました。しかし、さまざまな書籍や論文を読みながら、ジャーナリズムで求められる即時性と正確性が相反することがあることに気づきました。また、そもそもその現象の歴史的な文脈が理解できないと、部分を切り取って報道し、それが誤解を持ったまま世論を形成するという問題も理解できました。そして、先生方がなぜこのテーマを私たちに課したのか、その意図が少し垣間見えた気がしました。

書き込んでみよう

4　最後に、私たちに質問はありますか。

例を見てみよう

先程の問答で、先生方に「ジャーナリズムの観点から報道のあり方をより深く考えてみた方がよい」とアドバイスをいただきました。私は最近ではスロージャーナリズム、即時性よりも丁寧な取材を経て報道するメディアのあり方が大事であり、私もそのようなジャーナリストを目指したいと考えています。こうした問題意識を育てるような書籍や論文があれば、ご紹介いただきたいです。

生徒用回答欄3

教員記入欄

生徒用回答欄4

教員記入欄

第5講

面接のイメージトレーニング

チャプター1 模擬面接①
チャプター2 解説

書き込んでみよう

○ 模擬面接①の観察をしよう

	回答の内容と回答の要点をメモしよう	気になるところをメモしましょう
入室		
≫		
質問		
≫		
退室		

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3 模擬面接②
チャプター4 解説

書き込んでみよう

○ 模擬面接②の観察をしよう

	回答の内容と回答の要点をメモしよう	気になるところをメモしましょう
入室		
≫		
質問		
≫		
退室		

生徒メモ欄

教員記入欄

第6講

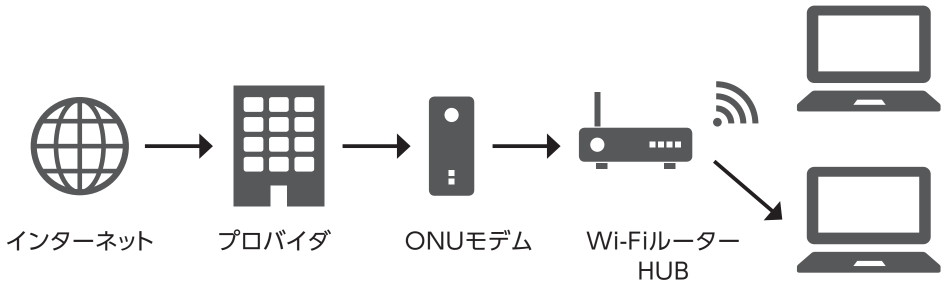
オンライン面接の対処法

チャプター1

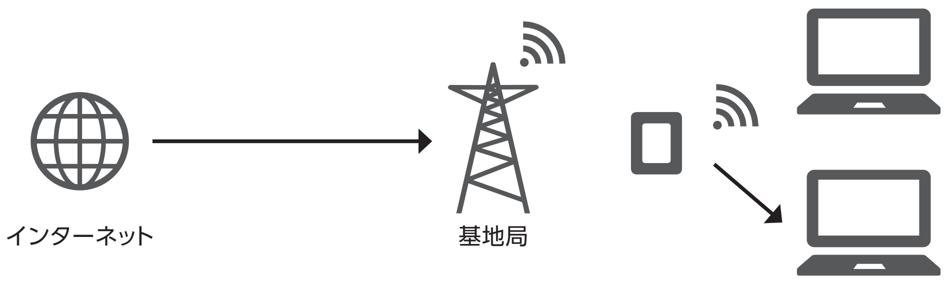
オンライン環境を整える

○ 固定回線・無線回線の違い

●固定回線



●無線回線



生徒メモ欄

教員記入欄

○ オンライン面接用のツール

1

2

3

○ 面接を受ける場所選び

1

2

3

4

5

6

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

オンライン面接のマナー

書き込んでみよう

○ オンライン面接の基本

基本的に＿＿＿＿＿に準拠する

服装は基本的に＿＿＿＿＿で

●発言の際のマナー

❶ 入室時

❷ 発言時

❸ 退室時

❹ 万が一の際

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

画面越しの自分の魅せ方

書き込んでみよう

○ オンライン面接での注意事項

❶ 目線

❷ マイク

❸ ツールの活用

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

面接試験までの準備・おわりに

書き込んでみよう

○ 事前準備のポイント

●生活のリズムを整える

1

2

3

●受験会場までの道のりを確認する

1

2

●忘れ物を防ぐ

入試要項に書かれている「　　　　」

などを見て、必要なものを確認しよう

生徒メモ欄

教員記入欄

書き込んでみよう

○ 持ち物チェックリスト

●必ず持っていくもの

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.

●必要であれば持っていくもの

1.
2.
3.
4.
5. 必ず ＿＿＿＿ にカバンに入れておこう

生徒メモ欄

教員記入欄

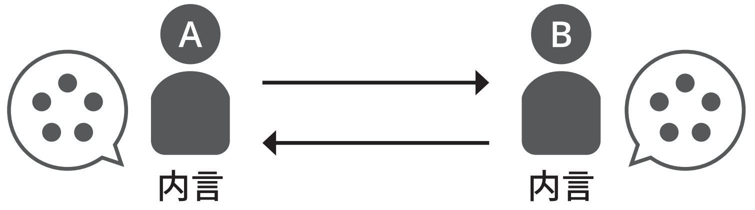
おわりに

面接試験は総合型選抜・学校推薦型選抜対策の「集大成」です。なぜ志望校に進学しようと決意したのか、あなたにはどういう特性や才能があるのか、どんな未来を望んでいるのか、その中で学問をどう捉えるのか。こうしたことを懸命に考え、実行してきたあなたの姿が、面接では相手に伝わります。
この講座では、総合型選抜・学校推薦型選抜の試験の中で合否に大きく関わる面接試験の対処法を伝えてきました。その中で、公の場でどう振る舞えばよいのか、どういった回答が望ましいのか、ということを学ぶとともに、改めて大学への進学理由や自己のあり方について振り返ることができたのではないでしょうか。

面接試験の会場ではあなた一人で戦うことになります。この講座で私が伝えたかったのは「本気で頑張ってきたあなたなら、誠実に、熱意を持って伝えれば大丈夫だ」ということです。もちろん試験のプレッシャーは計り知れません。でも、それは他の受験生も同じですから、あなたも周りも条件は同じです。そうしたことで一喜一憂するのではなく、今まで積み重ねてきた過程を振り返り、あなたの情熱、思考、行動、そして、描きたい未来を伝えてくればよいのです。

そもそも面接試験は「みずもの」、つまり運や状況にも左右されます。面接官との相性もありますし、緊張であなたが伝えたいことが伝わらないこともあります。ですから、私は受験生に「面接当日はいつもの７割の実力が出せれば御の字だ、と思うくらいの気持ちで臨むのがよい」と伝えています。それでも、私の講座を通過した受験生であれば、おのずとそれまでの思考や行動や情熱が伝わるものです。

そう捉えると、この講座を受講する前のあなたと、今のあなたは遥かに変わったはずです。面接試験での振る舞い方や答え方、そしてその内容を丁寧に整理し、十分に準備しているわけです。これで、ようやく面接官と「対話（dialogue）」ができることでしょう。



この講座で、あなたは内言（頭や心で思っている内なる言葉）を数多く得てきました。志望校を選んだ経緯、体験、学問、未来、自己、情勢、他者など、行動や文献購読や他者からの話を通して、いろいろな体験を経て、知として体に取り込んできたはずです。

もちろん、面接官である大学の先生方も今までの人生の中で内言を取り込んでいます。あなたと大学の先生方は異なる環境で育ち、経験値も異なりますから、持っている内言は異なるということです。

対話（dialogue）は、互いの内言を差し出しながら、その知を組み合わせて、新たな知をつくりあげる手続きです。大学は研究機関であり、新たな知をつくる場ですから、まさに対話は欠かせないということなのです。

ですから、面接の場を単なる問答を行う場として捉えず、「対話を通して、大学の先生方と知をつくっていこう」という心構えで臨んでほしいと願っています。そして、大学の先生方も、本音ではそういう受験生に来てほしいと願っているのではないかと思うのです。

この経験はきっと見知らぬ人（とはいえ大学の先生方については調査しているとは思いますが）との意思疎通の難しさと、それを越えるためには入念な準備が必要であることを学んだわけですから、あなたにとっての自信や支えになるはずです。最後まで取り組んでくれたあなたは、きっとさまざまな価値観を持つ他者と手を取り合い、世界をつくる人になってくれると信じています。

この講座で養った実力をもとに、全力で試験に挑んでください。きっとあなたにとって素敵な大学生活が待っていることでしょう。私も、これからもあなたを応援します。これからもぜひ頑張ってください！

神﨑 史彦

巻末資料　面接　ルーブリック

ルーブリックとは、学習の達成度の評価指標を表で示したものです。縦軸は評価の観点、横軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示していますので、評価基準の文章と自分の面接回答案や実際の面接練習の様子と照らし合わせ、まずは自分なりに「このあたりはできている（できていない）」という評価をしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどのようなことをする必要があるのかを考え修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

項目		評価ポイント	S	A	B	C	F
知識・技能	学部・学科の学びに必要な知識・教養	学部・学科での学びの理解に必要な知識（高校卒業までに身につけてほしいもの）をもとにした回答の明示	質問に対して、高校の課程を越えた知識をもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了する程度の知識をもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了する程度の知識としては一部不足するものの、おおよそそれらをもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了して回答している部分と、そうとは言い難い部分がある。	質問に対して、高校の課程を修了しているとは言い難い回答をしている。
	高校における学力の習得	① 評定の推移、「指導上参考になる諸事項」、「備考」等、調査書の情報と受験生の回答内容との照合 ② 本学のカリキュラム修了が可能な学力が高校で身についていること	本学のカリキュラム修了が行える学力が十分に備わっている。	本学のカリキュラムが修了が見込める学力がおおよそ備わっている。	本学のカリキュラム修了が見込める学力について、一部不安要素がある。	本学のカリキュラム修了が見込める学力にばらつきがあり、不安要素が多分にある。	高校までの学力が乏しく、本学のカリキュラム修了が見込めない。
思考力・判断力・表現力等	質問の意図の理解	質問の意図を理解した回答	質問の意図を理解し、合理的かつ発展的な回答をしている。	質問の意図を理解し、合理的な回答している。	質問に対して、適切に回答している。	質問に対して回答しているが、質問者の意図を理解していない。（例えば、意図を理解する姿勢がないまま反論したり、知ったかぶりをしたりする。）	質問に対して、回答できていない。（例えば6W1Hに即した回答ができていないなど。）
	一貫した思考のもとでの判断	出願書類と発言内容の一致およびそれらをもとにした回答	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しており、かつ発展的な回答を行っている。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫している。	出願書類や試験の内容と発言が一部一致・一貫しないところがある。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しないところが多い。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しない。

項目		評価ポイント	S	A	B	C	F
思考力･判断力･表現力等	具体･抽象･複眼思考	① 回答の具体性 ② 具体的な説明の抽象化 ③ 対比等による複眼思考・メタ思考	具体・抽象を重ねながら、回答の説明を行っている。また、対比等を加えながら複眼思考で質問を捉えている。	具体・抽象を重ねながら、回答の説明を行っている。	具体・抽象を重ねながら、一部理解困難なものの、おおよその回答の説明が行えている。	回答の根拠の説明を促しても、具体的に説明できず抽象論で終えたり、具体的な回答が拡散したりして整理できない。	具体・抽象を交えながら回答ができていない。（例えば丸暗記と思われる回答をし、面接官が質問しても答えられないなど。）
	深い思考	回答の根拠の深掘り	表層的な回答ではなく、その問題が発生するシステムや価値観まで捉えて回答をしている。	表層的な回答ではなく、その根拠を深掘りして回答している。	表層的な回答ではなく、合理的な根拠を添えて回答している。	表層的な回答ではなく、根拠を添えているが、一部合理的な回答とは言い難い。	表層的な回答に留まり、根拠の合理性に乏しい。（例えば、自己に息づく文化や道徳観に対する考察なしに感覚・感情的な回答を述べるなど。）
主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	課外活動への積極的な参加	課外活動（正課外の活動全てを対象とする）への積極的な参加、特筆すべき成果	課外活動へ積極的に参加しており、特筆すべき成果を上げている。その中で、本学のカリキュラム修了に転用できるスキル・マインドを身につけているとみなすことができる回答をしている。	課外活動へ積極的に参加している。その中で、本学のカリキュラム修了に転用できるスキル・マインドを身につけているとみなすことができる回答をしている。	課外活動へ積極的に参加している。	課外活動へ参加しているものの、積極的に参加している様子が見られない。	課外活動に参加していない。
	主体性	（正課・課外全てを対象に）主体的な目標設定と努力	さまざまな場面において、たとえ苦手なことがあろうとも、自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	志望学部・学科に関連する取り組みにおいて、自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	目標を定めているものの、達成しようと努めている様子が見られない。	自分の力で目標を定められない。
	協働性	（正課・課外全てを対象に）周囲との協働性	さまざまな場面にあおいて、価値観の相違が発生しようとも、根気強く対話を重ねながら、自己を変容させながら協働しようと試みている。	さまざまな場面において、価値観の相違が発生しようとも、リーダーシップを主導的に発揮して、協働しようと試みている。	さまざまな場面において、周囲と協働して活動に取り組んだ。	周囲と協働して活動に取り組むこともあれば、そうでないこともあった。	周囲と協働して活動に取り組まなかった。